



### 松前の魅力あふれる料理が完成 町制施行 60 周年 次世代料理コンテスト

町制施行 60 周年を記念して、南海放送が主催した「次世代料理コンテスト」の表彰式は 6 月 13 日、エミフル MASAKI で行われました。

このコンテストは、松前町の特産と網家の名物でもあるサバを使用した麺料理を募集したものです。118 点もの応募の中から書類審査を勝ち抜いた 5 点を 5 月 8 日、白石町長をはじめとする 5 人の審査員が味や見た目などを審査して、今回の表彰式を迎えました。

コンテストで 1 位に輝いたのは、松山市在住の江原健さんが考案した「松前つけ麺～まっさきにつけてミン」です。松前町の特産である麦味噌により、ごま油で炒めた香ばしい塩サバと栄養たっぷりの野菜の味が引き立てられ、おいしさが増しているところが評価されました。また、町内在住の大西多美子さん＝西高柳＝が考案した「鯖みそ煮が乗った松前うどん」も、敢闘賞を受賞し善戦。栄養バランスや彩りを考慮した優しい味付けが審査員をうならせました。

松前つけ麺は、7 月からエミフル MASAKI 内の網元で食べることができます。また、コンテストの様子は 9 月下旬、南海放送で放送される予定です。



④審査会の様子。実際に調理したものを、審査員が 1 品 1 品その味を確かめていった ⑤表彰式の様子。白石町長から表彰状が授与された ⑥1 位に輝いた「松前つけ麺」

### みんなで町をきれいに 第 46 回郷土を美しくする清掃

「郷土を美しくする清掃」は 6 月 6 日、塩屋海岸、北黒田・新立海岸をはじめ、公園や神社など町内各所で行われました。

この清掃は、町の自然がいつまでも豊かであるようにという願いを込め昭和 45 年から続けているもので、今年で 46 回目を迎えました。各会場には、小中高生や PTA、老人クラブ、地域住民や町内企業従業員など多くの人が参加。みんなで協力して 1 万 2,540 キログラムものごみを集め、町をきれいにしました。

さらに、2 年後に迫った愛顔つなぐえひめ国体に向けた「地域クリーンアップ活動」の一環として、中学生らが愛称のプリントされた軍手を身につけて清掃を実施。町をきれいにしながら、国体の啓発を行っていました。



④塩屋海岸。子どもから大人まで多くの人が参加 ⑤北黒田海岸。国体啓発の軍手をつけて清掃する中学生 ⑥思い通り。西古泉住民 135 人が参加



### 交通安全を願って 伊予交通安全協会などが啓発活動

春の全国交通安全運動の一環として、伊予交通安全協会が町内で各種啓発活動を行いました。

まず 5 月 14 日、自転車商組合と協力し無料自転車点検をエミフル MASAKI で行いました。点検を受けた買い物客は、自転車の安全利用の意識を高めていました。

さらに、5 月 20 日には国道 56 号線役場入口交差点で、のぼり旗を持って安全運転を呼び掛けました。

同協会は啓発を通じ、交通安全を願っていました。



④自転車が適正な状態かアドバイスを受ける ⑤道路沿いで旗を持ち、運転者や歩行者に交通安全を訴える



### 風水害に備えて訓練 松前町消防団・自主防災組織合同水防工法訓練

「平成 27 年松前町消防団・自主防災組織合同水防工法訓練」は 5 月 17 日、徳丸の二輪車公園西にある重信川左岸堤防で行われ、消防団、自主防災組織や松前消防署など約 450 人が参加しました。

台風シーズンを迎える前に、風水害による災害を最小限に食い止めるため行われている同訓練。町の実情に対応できる訓練にしようと、水防工法の基本となるロープ結索訓練から取り掛かりました。消防団などの指導を受けながら、ロープワークを実演した参加者は、その重要性を認識し、水害のときに迅速に対応できるよう熱心に耳を傾けていました。

その後も、土のうの作成やそれらを積み重ねてブルーシートで覆って、浸水を防ぐ工法を実演。杭が打てない住宅地での床上・床下浸水対策を学ぶとともに、互いの連携を深めていました。



⑤安倍内閣総理大臣から直接受け取った表彰状を手に笑顔を見せる武田さん



### 武田咲枝さんが内閣総理大臣表彰 消費者支援功労者表彰

「平成 27 年度消費者支援功労者表彰」の表彰式は 5 月 26 日、総理大臣官邸で行われ、町の消費生活相談員を務める武田咲枝さんが内閣総理大臣表彰を受賞しました。

武田さんは、平成 18 年に県消費生活相談員に従事した後、平成 22 年からは当町、東温市、砥部町の消費生活相談員として尽力しています。その中で高齢者見守りネットワークの構築、訪問相談や 3 市町の広域連携が高く評価されました。

受賞の知らせに「皆様のご協力のおかげで、このような名誉な賞をいただき、感謝の気持ちでいっぱいです。これからも地道に努力したいです」と笑顔で話していました。



④協力し合い、手際よく土のうを作っていく ⑤「迅速・簡単・確実」を心掛け、ロープワークを進める ⑥土のうを積み重ね、浸水を予防する方法を学ぶ